

kagoshima local network

# みなみネット

## 九州工学教育協会賞

### 鹿高専・植村教授が受賞

#### グローバル人材育成評価

九州から目指せ世界の技術者。霧島市隼人の鹿児島工業高等専門学校校の植村眞一郎教授(62)が九州工学教育協会賞を受賞した。九州沖縄9高専と企業が連携して、世界で活躍する人材を育てる取り組みが評価された。

900の会員企業を持つ九州経済連合会とも連携し、海外インターシップを実施。日系企業が多く進出し、比較的近い九州と東南アジアとの交流促進を

同等に交流できるようになり、現在9大学と学術交流協定を結ぶ。

と同等に交流できるようになり、現在9大学と学術交流協定を結ぶ。

鹿高専が中心となり、2012年度から5年計画で、長期海外派遣、海外インターシップを進めている。それぞれ千人規模の高専がまとまることで、1万人規模の海外大学期待でき、意識の高い者の植村教授は「異文化理解、英語力向上が

九州工学教育協会賞を受賞した植村眞一郎教授  
霧島市隼人の鹿児島工業高等専門学校



海外学生と交流することとは高専生の刺激になる。

(永井貴士)

#### スポーツ感覚 街中ごみ拾い

鹿屋

制限時間内に集めたごみの量や種類でポイントを競う「スポーツGOMI拾い大会」が8日、鹿屋市大手町のリナシティかかのや周辺であった。市内外から訪れた34チーム約170人が、街中のごみを

「丁子哲治校長(64)は「学生の海外体験が当たり前のごころまでもっていき、地元でも海外でも活躍できる人材を育てたい」と語った。

楽しみながら探した。

日本スポーツGOMI拾い連盟(東京)が全国に広める運動で、県内では3回目。鹿屋市では初めて開いた。3人以上5人以下でチームを組み、空き瓶や空き缶、たばこの吸い殻など全チーム合わせて518個のごみが1時間で集まった。競技を活気づけよう



街中のごみを拾う参加者

一鹿屋市北田町

#### 秀吉朱印状や機密地図 16点初公開

都城市の都城島津邸で収蔵史料展「都城と都城島津家」が開かれ、文書や調度類など41点を展示している。6月28日まで。

江戸末期の地図や豊臣秀吉の朱印状など16点を初公開。地図は現在の三股町周辺が描かれ、仲が悪かった飢肥藩を警戒する番所の配置を示した最高機密文書という。朱印状は肝心の印の部

#### 都城島津邸で収蔵史料展

分が削られている。

学芸員の米澤英昭さん(43)は「都城を独立させようとした秀吉の意図を察し、島津本家に従う姿勢を見せたのでは。資料を間近に見て、貴重さを感じてもらえたら」と話す。

大人210円、高校・大学生160円、小中学生100円。月曜休館。都城島津邸＝0986(23)2116。(野村真子)

と、米映画「スパイターマン」の主人公やアニメキャラクターに仮装し臨む参加者もいた。鹿児島市から家族3人と話した。(山下智弘)

初公開された地図

都城市の都城島津邸

